

## 1. 総評

**(1) 年度初めの学校の状況 【学校の現状及び前年度の成果と課題】**

## ○学校の現状について

・全校児童は514名。新1年87名が入学。17学級。特別支援教室に30名の児童が入室している。教職経験10年目未満の教職員が62.5%（内5年目まで25.0%）を占めている。常に共通理解のもと同一歩調で統一した指導に努めている。経験豊かな先輩教員が増えてきたことにより、若手の教員を丁寧に指導する機会も増えてきている。問題解決型学習を基にした授業力の向上が課題である。PTAやPTAOB会、開かれた学校づくり協議会等、地域の方々に学校に寄せる熱い思いや期待は大きく、また、とても協力的である。児童数の増加に伴い、保護者の学校への思いや期待も変化してきている。本校の歴史と伝統を受け継ぎ、学校・保護者・地域の連携を強化しながら改革を進め、新生「加平の教育」を推進していく。

## ○前年度の成果と課題

重点的な取組事項－1 学力の向上

・区学力調査通過率 80%以上を目指してきた。結果通過率は 81.1%（4月）で設定目標を達成した。9月再調査通過率 5ポイント増を目標に指導を積み重ねた結果 10ポイント増の 91.1%を達成した。また、国語・算数の基礎的基本的な学力の定着 70%以上の児童を 85%以上の目標は、国語 88.7%、算数 92.8%、全体として 90.8%で達成できた。達成できていない児童の定着状況をよく把握して、90%以上達成に向けての努力を続ける。

重点的な取組事項－2 基本的な生活習慣の確立

・基本的な生活習慣の確立等を目指した取組は成果を上げてきている。特に挨拶については、教員・PTA・協議会委員による挨拶活動に加え、全児童による挨拶活動（通年）も実施し定着を図ってきた。生活リズム向上等の生活習慣の確立に対する取組も少しずつではあるが成果を上げている。生活習慣の確立は、保護者の力なくして達成できない。学校・開かれた学校づくり協議会からの情報発信の方法を工夫し、保護者との協働体制を強化していく。

重点的な取組事項－3 体力・運動能力の確実な向上

・年間指導計画に基づき、体育の授業、食育・保健指導を通して児童の体力・運動能力の向上に努めてきた。体育朝会の内容の見直しと計画的な実施、持久走や縄跳び等の取組方法の工夫を図り、保健指導・食育指導についても養護教諭・栄養士と連携した指導を実践してきた。常にPDCA（計画→実践→評価→改善）のサイクルで改善し続けてきたことで成果を上げている。今後も常にPDCAサイクルを大切に、さらに充実に努める。

重点的な取組事項－4 豊かな心の育成

・「学校は楽しい」自己評価 95.8%で設定目標を達成した。今後も道德教育の充実、たてわり班活動、ふれあい月間、音楽集会・音楽鑑賞教室等による心の教育の充実を図る。また、課外スポーツ活動、環境かるた・百人一首、将棋等の区のイベントに向けての練習や大会・イベントへの参加等、自分の得意なこと・好きなことに取り組める場を設定する。

重点的な取組事項－5 幼・保・小・中の充実

・年間計画に基づき、幼・保・小・中の連携の充実に努めた。幼・保・小の連携では、近隣幼稚園・保育園との交流活動や保育参観・意見交流会を通して、小学校への円滑な接続に向けての指導改善に生かすことができた。小中連携では、教科別分科会を中心とした研究授業・協議会を通して、小中の学びの連続性を学び、授業力・指導力の向上に努めた。今後も小中の教員が協働で指導案検討・研究授業を通して、授業力・指導力を高めていく。

**(2) 今年度の重点目標とそれに向けた取組の概要**重点的な取組事項－1 学力の向上

- ・基礎的基本的な学力の定着 … 朝学習(15分間:漢字・計算)週3回実施。漢字、計算等の実施。  
放課後補充教室の充実。  
・教員全身体制による補充指導。(各学年30分以上週1日)  
・学級担任による補充指導。  
サマースクール10日間実施。  
SP表の分析、改善策立案・実施、評価の実施。(年3回)  
課題に応じた指導法・形態の改善。 学力ポートフォリオを基に個に応じた指導
- ・家庭学習の定着 … 目標時間に応じた課題、宿題の提示。宿題の提出状況調査実施。(年3回)。  
「家庭学習のてびき」等で保護者へ啓発。 家庭学習実施状況調査の実施(年3回)

重点的な取組事項－2 望ましい学習・生活習慣の確立

- ・進んで挨拶 … 児童による挨拶活動実施(年3回)→(通年)。  
PTA・開かれた学校づくり協議会による挨拶活動実施(年2回:6月・10月)。  
学級指導・道德授業の充実。挨拶・返事の指導の徹底(毎日)。  
学校関係者による評価実施(年3回)。
- ・生活習慣の確立 … 生活習慣強化週間の設定(年3回)。  
保護者会・個人面談・学校だより等で保護者を啓発。

- ・意欲的な学習… 学習状況満足度調査実施(年3回)  
調べ学習で図書室・パソコン室の活用。実績調査実施(年2回)。

### 重点的な取組事項—3 体力・運動能力の確実な向上

- ・体育科の指導技術の向上… 体育部や外部講師等を活用した実技研修会の実施<2回以上>。
- ・体育的活動の充実… 縄跳び・持久走の取組、体育朝会の計画的な実施と実施方法の工夫・改善。  
加平ギネス(歴代最高記録)の揭示。
- ・遊びや運動の日常化… 外遊び・運動時間調査(年3回)。 ロングの外遊びの実施。
- ・食育・保健指導の充実… 担任と養護教諭・栄養士が連携した授業。・保健授業(3年以上各1回以上)  
・食育指導(各学年1回)  
発育測定時の保健指導(各学年年3回)  
歯科指導の実施。・養護教諭による(2年以上各1回)・歯科衛生士と連携による(1年1回)。  
ランチルーム給食時の食育指導実施。・栄養士による(36回以上)

### 重点的な取組事項—4 豊かな心の育成

- ・自己肯定感の向上… ふれあい月間の取組(年3回)。 道徳授業の充実。  
「思いやり・親切」「人権尊重」での公開授業実施(年1回) 全校朝会で活躍の賞讃。
- ・思いやりの心を育む… 全校遠足(年1回)。 縦割り班集会実施(年5回)。 縦割り班給食(年2回)  
クリーン作戦実施(年1回)。 人権メッセージ等の人権尊重の取組。
- ・読書や歌に親しみ、豊かな心を育てる… 読書タイム実施(10分間 週5回) 読書旬間実施(年2回)→(年3回)。  
音楽朝会実施(年8回)。 音楽鑑賞教室実施(年1回)。

### 重点的な取組事項—5 幼・保・小・中の充実

- ・教員の交流研修… 近隣の幼稚園、保育との交流研修。 全教職員による公開保育参観・協議会。
- ・児童、園児の交流園… 園児の給食体験と1年生との交流活動。 行事への招待。
- ・小中連携研修… 研究授業 各分科会  
・足立スタンダードに基づいた授業の実現に向けて指導案検討・授業研究(年3回)の実施。  
・講師による助言を生かして授業改善を進める。
- ・児童の中学校体験活動… 児童の授業体験、部活同見学実施。

## (3) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性

### 重点的な取組事項—1 学力向上

・区学力調査通過率80%以上を目指してきた。結果4月通過率は82.5%で目標を達成することができた。9月再調査通過率5ポイント増を目指して指導を積み重ねた。結果6.5ポイント増の89.0%を達成することができた。また、国語・算数の基礎的基本的な学力の定着70%以上の児童85%以上を目指してきた。結果、国語89.6%、算数91.7%、全体として90.6%で達成できた。70%に達成していない9.4%の児童を中心に児童一人一人の基礎的基本的な学力定着状況を把握して、90%以上達成に向けての努力を続ける。

### 重点的な取組事項—2 基本的な生活習慣の確立

・挨拶、基本的な生活習慣の確立等を目指した取組は、成果をあげている。特に挨拶については、教員・PTAによる挨拶活動に加え、全児童による挨拶活動(通年)を実施し、定着を図ってきた。通年で取り組んだことは、大きな成果につながった。生活リズム向上等の基本的な生活習慣の確立に対する取組についても少しずつではあるが成果を上げてきている。「早寝」が大きな課題である。保護者会の場合やHP・学校だより等を活用して、保護者・地域の方への情報発信の方法をさらに工夫していくことが必要である。

### 重点的な取組事項—3 体力・運動能力の確実な向上

・年間指導計画に基づき、体育の授業、食育・保健指導を通して児童の体力・運動能力の向上に努めてきた。体力テストの結果から特に、「投力」「ソフトボール投げ」「長座体前屈」に課題が明らかになった。各学年で「体力向上の手立て」を策定し取り組んでいる。体育的活動については、体育朝会の内容の見直しと計画的な実施、持久走や縄跳び等の取組方法の工夫を図り、保健指導・食育指導についても年間計画に基づき、養護教諭・栄養士と連携した指導を実践してきた。常にPDCA(計画→実践→評価→改善)のサイクルで改善し続けてきたことで成果を上げている。今後も常にPDCAサイクルを大切に取組の充実に努める。

### 重点的な取組事項—4 豊かな心の育成

・「学校は楽しい」自己評価95.9%で設定目標を達成した。今後も道徳教育の充実、たてわり班活動、ふれあい月間、音楽集会・音楽鑑賞教室等による心の教育の充実を図る。また、課外スポーツ活動、環境かるた・将棋大会・百人一首等の区のイベントに向けての練習や大会・イベントへの参加等、自分の得意なこと・好きなことに取り組める場を設定する。

### 重点的な取組事項—5 幼・保・小・中の充実

・年間計画に基づき、幼・保・小・中の連携の充実に努めた。幼・保・小の連携については、近隣幼稚園との交流活動において小1プロブレムを意識して内容の改善を進めてきた。また近隣幼稚園・保育園の参観・意見交流を通して、発達段階における指導の違いを認めつつ、小学校への円滑な接続に向けての指導改善に生かすことができた。小中連携については、教科別分科会で、講師を招聘し、研究授業・協議会を通して、小中の学びの連続性と児童・生徒のやる気を引き出す工夫について学ぶことで指導力の向上に努めてきた。今後さらに小中教員が協働で指導法等の統一を目指し、授業研究を通して、授業力・指導力を互いに高めていけるように努める。

#### (4) 保護者や地域へのメッセージ

- 学校、家庭、地域にはそれぞれの役目があります。学校は、子供たちに学力や体力をはじめ、人格形成の基礎を身につけさせていく役目があります。また、子どもたちに基本的な生活習慣が身につくようにして、学習効果を高めしていくことも役目です。この基本的な生活・学習の習慣を身につけることは学校だけでも家庭だけでもできません。互いがフィフティフィフティの同等な関係で、それぞれの役割を果たすことが重要です。基本的な生活・学習の習慣の土台は、家庭であり、家庭の協力が不可欠です。家庭での「躰」「健康管理」「家庭学習習慣」「社会規範(きまり)を守る」などは家庭の役目です。もう一つ家庭・地域・学校に共通の役割は、子供たちに「忍耐強さ」「根気強さ」「自制心(心の強さ)」「意欲」「誠実さ」「好奇心(興味・やる気)」「社会性」「協調性(思いやり・協力)」「人とかかわる力」などの力を育てていくことです。家庭で基盤をつくり、学校で知識や知恵を身につけ、地域で実践していくような連携がとれることを願っています。学校の取り組みにご理解をいただき、より一層のご協力をお願いします。
- 保護者・地域の皆様の学校に寄せる熱い想いを強く感じています。学校は、子どもあつての学校、地域あつての学校だと考えます。ですから、学校は、子どもや保護者、地域の声に耳を傾け、子ども、保護者、地域の願いや思いを受け止めて教育活動を推進し、「笑顔輝く加平小学校」を実現していきたいと考えます。そのためにも、学校は、子どもたちの学校での学習面・生活面の状況を保護者の皆様や地域の皆様に積極的に発信することで共有し、協働して子供たちに働きかける体制を確立していきたいと思ひます。

## 2. 平成30年度の重点的な取組事項

＜達成度 ◎:十分に達成 ○:おおむね達成 △:達成せず ●:課題が残る＞

### 重点的な取組事項－1 学力の向上

今年度の成果目標	達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
基礎的基本的な学力の定着	<p>○区学力調査目標値通過率を80%以上にす。また9月実施の再調査までに国・算数とも各学年5ポイント以上改善し、通過率85%以上にす。</p> <p>○国語・算数の基礎的基本的な学力の定着70%以上の児童を85%以上にす。</p>	<p>・区学力調査通過率 82.5%(4月)で目標を 2.5 ポイント上回った。 (昨年度比 1.4 ポイント増) 9月再調査では通過率 5 ポイント増を修正目標とし、結果 87.1%で 4.6 ポイント増を達成。12月再調査結果 89.0%で、6.5 ポイント増を達成。</p> <p>・国語・算数の基礎的基本的な内容の定着率 70%以上の児童 国語 89.6% (前年度比 0.9 ポイント減) 算数 91.7% (前年度比 1.1 ポイント減) 全体 90.6% (前年度比 0.2 ポイント減)</p>	<p>・4月通過率は国語 81.82%(前年度比 4.6 ポイント増、算数 80.5%(前年度比 2.5 ポイント減)、全体 81.1%で前年度比 1 ポイント増で、設定目標を達成した。9月には、国語 91.4%、算数 90.5%、全体 91.1%となり、設定目標(4月比 5 ポイント増)を 10 ポイント増で達成した。12月通過率は国語・算数とも 92.5%であった。児童の実態に応じた新たな目標設定し、指導改善と個に応じた指導を充実・推進し、学力向上を推進する。</p> <p>・定着率 70%以上の児童 90.6%で設定目標 85%以上を達成することができた。今後も国語を中心に指導改善・個に応じた指導の充実に努め、70点以上の児童 90%以上を目指す。</p>	○

目標実現に向けた取組み	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
別紙「平成30年度学力向上アクションプラン」評価シート参照					

重点的な取組事項－２ 望ましい学習・生活習慣の確立

今年度の成果目標	達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
望ましい学習・生活習慣の確立	進んで挨拶 80%以上 早寝 70%以上 早起き 90%以上 朝食摂食率 95%以上 学習状況満足度 85%以上	・挨拶は全校で 96.6 %以上の児童ができている。 進んで挨拶はできるは、関係者評価で 84.6%達成。 (前年度比 1.6 ポイント増) ・早寝 70.4%達成 (前年度比 0.9 ポイント減) ・早起き 91.6%達成 (前年度比 0.7 ポイント減) ・朝食摂食率 97.7%達成 (前年度比 0.7 ポイント増)。 ・学習状況満足度調査 92.3%達成。 (前年度比 2 ポイント増)	・挨拶運動に、全児童が参加した。進んで挨拶する児童が関係者評価で 83.0%まで増上した。先生の名前を言って挨拶する子や笑顔で挨拶をする子、立ち止まって挨拶する子も増えてきている。 ・早寝は全体として 71.3%で前年度比 5.9 ポイント増となり設定目標を達成することができた。1・4・6 年で 70%以上を達成。今後は全学年通して 70%以上の達成を目指す。啓発方法を見直し、早寝についての必要性を継続的に啓発し、学校・家庭との連携を強化していく。 ・設定目標 85%以上を達成できた。落ち着いた学校生活を送れるよう、授業改善に努めていく。	◎

目標実現に向けた取組み	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
進んで挨拶	○挨拶できる：90%以上 ○進んで挨拶できる：80%以上	○教員による挨拶活動の実施 (毎朝・児童朝会・児童集会後) ○児童による挨拶活動実施(通年) ○PTA・開かれた学校づくり協議会による挨拶活動実施(年2回) ○学級指導・道徳授業の充実。 ・挨拶・返事の指導の徹底(毎日) ○学校関係者による評価実施(年3回)	・児童による挨拶運動を全学年とし通年に変更した。教員も参加し通年で取り組んだ。 ・PTA・開かれた学校づくり協議会・PTAOBによる挨拶活動を年2回(6月・10月)実施。 ・学級指導、生活指導(週目標等)、道徳授業等で適宜取り上げ指導を積み上げてきた。 ・挨拶できる児童自己評価 96.6% 進んで挨拶はできる関係者評価で 84.6%達成。 (前年度比 1.6 ポイント増)	・全学年児童と教員による挨拶運動、PTA・開かれた学校づくり協議会による挨拶活動の取組を通して、元気に・笑顔で挨拶する姿が多くなった。一言付けて・立ち止まって挨拶する姿も増えてきている。当たり前にあいさつのできる子を目指して今後もこの取組みを継続していく。 ・めあてを明確にしてさらに指導を継続し、進んで挨拶する児童を増やし 90%を達成したい。	◎
生活習慣の定着	○早起き：90%以上 早寝：70%以上 朝ご飯：95%以上 ゲーム・テレビ視聴：80%以上	○生活習慣強化週間の設定(年3回) ○保護者会・個人面談・学校だより等で保護者を啓発	・ハッピー貯金表の結果 ・早寝 70.4%達成 (前年度比 0.9 ポイント減) 高 68.2% (前年度比 4.2 ポイント減) 低 72.6% (前年度比 2.5 ポイント増) ・早起き 91.6%達成 (前年度比 0.7 ポイント減)	・設定項目すべて(早寝、早起き、朝食・テレビ視聴、外遊び・運動)は設定目標を達成することができた。 ・課題であった早寝については、全体として 70.2%	○

目標実現に向けた取組み	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝食摂食率 97.7%達成 (前年度比 0.7ポイント増)</li> <li>・テレビ視聴等 (2時間以内) … 92.1%達成 (前年度比 1.9ポイント増)</li> <li>・外で遊んだし運動したりする… 89.7%達成 (前年度比 0.6ポイント減)</li> </ul>	<p>で設定目標を達成できたが、高学年で 68.2%を目標に届かなかった。今後もPTA・開かれた学校づくり協議会との連携により、家庭への啓発を強化し、70%以上の達成率の維持・向上を目指す。</p>	
意欲的な学習	○学習状況 満足度: 85%以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習状況満足度調査 実施(年3回)</li> <li>○調べ学習で学校図書館・ パソコン室活用 ・活用実績調査実施 (年2回)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業アンケート 満足度 93.2%達成。 (前年度比 0.7ポイント増)</li> <li>・調べ学習での図書室と パソコン室の活用は、2 年以上で年間 5・6 回活 用。 ・図書室のみ 495 回 (前年度比 228 回増) ・パソコン室のみ 151 回 (前年度比 16 回増) ・図書室とパソコン室 同時使用 48 回 (前年度比 33 回増)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習状況満足度 調査 93.2%で設 定目標を達成し た。しかし、前年 度比では0.4ポイ ント減ってしまった。 意欲的に学習 する姿を基本 として指導を積み 重ねるとともに、 授業改善を進 め、90%以上の 維持・向上を目 指す。</li> <li>・調べ学習時にパ ソコン室だけの 利用、図書室だ けの利用は前年 に比べ増えた。し かし、図書室とパ ソコン室の活用 機会が増加し た。今後も同時 使用の機会を拡 大していく。</li> </ul>	◎

重点的な取組事項－3 体力・運動能力の確実な向上

今年度の成果目標	達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
体力・運動能力の確実な向上	<p>○東京都体力・運動能力調査で、全種目で全国平均値に近づける。</p> <p>○1日1時間以上外遊び・運動する児童 85%以上。</p>	<p>・東京都体力・運動能力調査結果、総合点で男子は1・5・6年、都平均値を上回った。女子は3・4年がほぼ同等であるもの都平均を下回った。また全国平均値との比較では、総合点男子1学年だけが上回り、6学年がほぼ同等であるものの下回った。学校全体として握力・ソフトボール投げ・長座体前屈に課題である。</p> <p>・1日1時間以上外遊び・運動する児童 91.3%達成。 (前年度比 0.6ポイント減)</p>	<p>・東京都体力・運動能力調査結果は、総合点で都平均値・全国平均値を下回る学年が増えてしまった。学校全体として、特に握力・ソフトボール投げ・長座体前屈に課題がある。体育時の準備運動の工夫、運動時間の確保等を実践するとともに、運動の日常化を目指し、日々の取組を工夫改善し向上を図る。</p> <p>・中休み・昼休みの外遊び、「エンジョイタイム」、縄跳び大会の実施等の取組を実施してきた。この取組の充実を図り、体力向上を目指したい。</p>	△

目標実現に向けた取組み	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
体育科の指導技術の向上	○校内研修会実施(年2回)	○体育主任を中心とした体育部や外部講師等を活用した研修会の実施	・体育主任を中心とした体力調査、水泳指導研修会も各1回実施。	・指導技術の向上は、児童の体力・運動能力の向上に向け、来年度も計画的な実技研修会を実施する。	△
体育的活動の充実	<p>○縄跳び:全員自己目標達成</p> <p>○持久走:全員自己目標達成</p> <p>○体育朝会年7回以上実施</p>	<p>○縄跳び・持久走の取組、体育朝会の計画的な実施と実施方法の工夫・改善</p> <p>○加平ギネス(歴代最高記録)を掲示</p>	<p>・持久走・縄跳びの取組では、自分が設定した目標を全員が達成することができた。</p> <p>・長縄では学級で目標を決めて取り組んだ。</p> <p>・体育朝会は他の教育活動の関係から5回実施にとどまった。 (集団行動、ラジオ体操、縄跳び等)</p> <p>・加平ギネス(過去最高記録)校内掲示</p>	<p>・持久走・縄跳びの取組では、一人一人がめあてをもたせ、練習に取り組ませてきた。記録会では、自分のもてる力を発揮し、達成感を味わわせることができた。体育朝会では集団行動等計画的に実施できた。さらに改善・充実する。</p> <p>・加平ギネスの活用について今後検討をしていく。</p>	○
遊びや運動の日常化	○外遊び・運動: 85%以上	<p>○外遊び・運動時間調査(年3回)</p> <p>○ロングの外遊び(エンジョイタイム)の実施(月1回)</p>	<p>・外遊び・運動時間調査1日1時間以上 89.7%達成。 (前年度比 2.2ポイント減)</p> <p>・月1回 11回実施。長縄跳びを中心に運動に取り組んだ。</p>	<p>・月一回ロング休み時間を設定し、学級全員で、長縄跳びを中心に、遊びや運動を実施した。平素から外遊びをする児童が増えた。進んで外遊びや運動をする児童を増やしていく。</p>	◎

目標実現に向けた取組み	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
食育・保健指導の充実	<p>○食育・保健に関する授業 各学年2回以上実施</p>	<p>○担任と養護教諭・栄養士の連携授業 ・保健授業 (3年以上各1回以上) ・食育指導(各学年1回)</p> <p>○発育測定時の保健指導実施</p> <p>○歯みがき指導の実施 ・養護教諭による(2年以上各1回) ・歯科衛生士との連携による(1年1回)</p> <p>○ランチルーム給食時の食育指導実施 ・栄養士による(36回以上)</p>	<p>・保健授業3～6年で1回以上実施。</p> <p>・発育測定時に保健指導を各学年3回計18回実施。</p> <p>・養護教諭による歯科指導2年生以上で各1回実施。</p> <p>・歯科衛生士と連携した指導を10月に1年生で実施。</p> <p>・栄養士による食育指導各クラス2回計34回 縦割り給食 1回 お別れ給食 1回 計36回 設定目標を達成。</p>	<p>・担任と養護教諭が連携した授業等計画的に実施することができた。今後さらに充実を図る。</p> <p>・養護教諭による指導は確実に実践された。内容も毎年工夫改善され、児童にわかりやすいものになってきている。</p> <p>・ランチルーム給食・食育指導を各学年年2～3回、お別れ給食1回計36回実施した。設定目標を達成した。可能な限り実施してきた。来年度も充実したものにしていく。</p>	◎

重点的な取組事項－４ 豊かな心の育む

今年度の成果目標	達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
自己肯定感・思いやりの心を育てる	○児童・保護者・地域のアンケートで「楽しく学校生活を送っている」 90%以上	○児童・保護者・地域アンケートで「楽しく学校生活を送っている」 児童:95.9%達成。 (前年度比 0.1 ポイント増) 保護者・地域:94.3%達成 (前年度比 4.3 ポイント増)	「楽しく学校生活を送っている」について設定目標を達成することができた。今後も教育活動を工夫し、友だちや先生とのかかわり合いを通して、すべての児童が楽しい学校生活であるよう努める。	◎

目標実現に向けた取組み	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
自己肯定感の向上	楽しく学校生活を送っている学校が楽しい  90%以上	○ふれあい月間の取組(年3回)  ○道徳授業の充実「思いやり・親切」「人権尊重」での公開授業実施(年1回)  ○全校朝会で活躍の賞讃	・ふれあい月間実施。(年3回)  ・道徳授業地区公開講座実施。(1月)  ・日々の活動でのよさやがんばりを賞讃するとともに、全校の前で表彰する等実施。(通年)  ・「学校が楽しい」と感じている児童 95.9% 達成 (前年度比 0.1 ポイント増) 保護者・地域 94.3%達成 (前年度比 4.3 ポイント増)	・ふれあい月間には、いじめ防止に関する朝会講話を実施した。連動して「いじめに関する授業」、標語づくりを実施した。また児童による「お世話になっている地域の方等への感謝集会」「思いやり集会」等を実施した。  ・「思いやり・親切」「人権尊重」を重視し、道徳授業地区公開講座を1月に実施した。講師を招聘し、「夢に向かって」をテーマに4～6年児童・保護者を対象に講演会を実施した。  ・朝会では百人一首、スポーツ大会、将棋大会等でのがんばりを表彰するとともに、日々のがんばりも賞讃した。  ・「学校が楽しい」と感じている児童が増えている。今後も「笑顔輝く学校」を目指していく。	◎



目標実現に向けた取組み	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
<p>思いやりの心の育む</p>	<p>異学年活動や児童会活動は楽しい 90%以上</p>	<p>○全校遠足(年1回) ○縦割り班遊び実施(年5回) ○縦割り班給食(年2回)  ○クリーン作戦実施(年1回)  ○人権メッセージ等人権尊重の取組</p>	<p>・全校遠足6月実施。(元渚江公園) ・縦割り班集会 年9回実施。  ・縦割り班給食・お別れ給食会を各1回実施。  ・クリーン作戦実施(9月)。  ・人権メッセージ(6年:6月)に取り組み、代表児童が都人権メッセージ大会(9月)で発表。12月全校朝会でメッセージを発表し、全校で「人権の花」の取組を実施した。  ・異学年活動や児童会活動が楽しい 児童自己評価 異学年活動 74.5% (前年度比 24.3ポイント減) 児童会活動 91.5% (前年度比 4.3ポイント減)</p>	<p>・異学年交流の場として縦割り班遊びを9回実施した。6年児童を中心に遊びの計画を立て、楽しく過ごすことができた。縦割り班給食・お別れ給食を実施。お別れ給食会では、6年生と下級生が一緒に会食する場面を設定した。  ・雨天のため校内清掃を実施。保護者の方には清掃の様子を参加していただいた。  ・6年児童全員が人権メッセージに取り組み、代表児童が都人権メッセージ大会で発表した。区優秀賞を受賞した。12月全校朝会で代表児童のメッセージを発表し、全校児童で「人権標語づくり」の取組を実施し、全学級の標語を校内に掲示した。  ・異学年活動(縦割り班遊び等)については、74.5%で設定目標を達成できなかった。高学年の評価が低く、これは縦割り班活動を倍増させたことにより高学年の負担が増えたことが一因と考えられる。異学年のかかわりは思いやりの心や感謝の気持ちをもつために大切な活動ととらえている。高学年の児童の考えも聞きながら、今後の活動を工夫し、充実していく。</p>	<p>○</p>

目標実現に向けた取組み	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
<p>読書や歌に親しみ、豊かな心を育む</p>	<p>進んで読書をする 80%以上</p> <p>歌をしっかりと歌う 児童 80%以上</p>	<p>○読書タイム実施 (10分間 週5回)</p> <p>○読書旬間実施(年3回)</p> <p>○音楽朝会実施(年8回)</p> <p>○音楽鑑賞教室実施 (年1回)</p>	<p>・読書タイム 153回実施。</p> <p>・読書旬間(6月10月2月)の年3回に実施。読み聞かせ等も実施し、読書量が増えてきた。</p> <p>・進んで読書をする。 児童自己評価 83.2%達成 (前年度比8.3ポイント減)</p> <p>・音楽朝会年8回実施。</p> <p>・歌をしっかりと歌う児童 95.6.0% (前年度比3.4ポイント増)</p> <p>・音楽鑑賞教室年1回 (12月)実施</p>	<p>・読書タイムにより落ち着いて午後の授業に取り組んでいる。設定目標を達成しているものの、進んで読書の評価が下がってきてしまっている。読書タイム、読書旬間等の取組を改善し、読書の質を高める工夫をし、今後も読書に親しむ機会を増やしていく。</p> <p>・音楽朝会では、全校合唱を実施。のびのびと歌う子どもたちの姿が多い。2年目を迎えた合唱団は、80名の児童が参加し、練習に励んでいる。</p> <p>・今後も機会を大切にしていく。</p>	<p>◎</p>

## 重点的な取組事項－5 幼・保・小中の連携の充実

今年度の成果目標	達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
幼・保・小・中の連携の充実	指導案検討会・研究授業、幼児・児童・生徒の情報交換会、交流研修等年8回以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中連携協議会7回実施。うち研究授業年3回実施。(指導案検討3回)</li> <li>・園児との給食体験と1年生との交流活動年2回実施。教員の交流研修1回(3人)実施。全教職員が公開保育を参観・協議会へ参加した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中連携校の研究授業・協議会を7回実施し、小中の連続性を意識した指導について研修を深めた。教科別分科会に分かれ、講師を招聘して指導案検討・研究授業・協議会を計6回、連携校の成果を共有した。</li> <li>・交流活動(2回)・交流研修(1回)を通して、共通実践事項の確認と指導の状況を共有し、より円滑な接続に向けて手立ての共有ができた。</li> <li>・幼保小中連携研修として計10回実施できた。</li> </ul>	◎

目標実現に向けた取組み	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
教員の交流研修	○幼保園との交流研修、公開保育参観・協議会への参加(全教職員参加)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○近隣の幼稚園、保育園との交流研修</li> <li>○全教職員による公開保育参観・協議会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園での交流研修3名で各1回実施。保育園での指導について理解を深めた。</li> <li>・近隣幼稚園・保育園の公開保育参観・協議会に全員が参加。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園との交流、保育園での交流研修を通して、互いの指導の状況について知るとともに、指導の連続性の重要性を再確認することができた。小学校スタート時の効果的な指導につなげていく。</li> </ul>	◎
児童、園児の交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>○1年生が交流活動を実施</li> <li>○行事への招待</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○園児の給食体験と1年生との交流活動</li> <li>○行事への招待</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園児の給食体験と1年生との交流は、近隣幼稚園2園と近隣保育所1園で各1回実施。</li> <li>・音楽会に幼稚園の方を招待。(1月)</li> </ul>	◎	
小中連携研修	○足立スタンダードに基づいた授業展開の充実を目的とした小中連携における研究会(年7回)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○研究授業 各分科会</li> <li>・足立スタンダードに基づいた授業の実現に向けて指導案検討・授業研究の実施。</li> <li>・講師より助言を生かして授業改善を進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中連携4月全体会をスタートとして小中連携協議会8回実施。全体会2回、指導案検討3回、研究授業3回実施。小中学校の教員が教科別分科会にわかれ、講師を招聘して指導案検討・研究授業を実施。研究協議のあと講師の指導を受けた。</li> </ul>	◎	
児童の中学校体験活動	○中学校体験活動(年2回)	○児童の授業体験、部活動見学実施	・中学校授業体験・部活動見学実施。(6年各1回)	◎	

### 3. 学校活動全般について

・平成26年度に新校舎に移転から5年が経過した。新校舎の恵まれた環境を生かした教育活動を進めてきている。来年度の新人児童数は100名3学級が見込まれている。全校児童は34名増の565名、学級数も18学級となる予定である。特別支援教育については、特別支援教室を中心に学級との情報交換を密にし、個に応じた指導をさらに充実させ、児童一人一人のよさを引き出す指導を推進していく。またビオトープを生かした環境教育や道徳教育や特別活動の充実を図り、豊かな心の育成にさらに力を入れていく。何よりも日常の授業を大切にして、一時間の授業を通して、「人とかわかる力」「自分を知る力」「解決する力」等も育成していきたい。今後も児童数増、教職員数増加が見込まれる。これをチャンスととらえ、学校全体を活性化させ、チャレンジ精神をもって教育活動を充実いくとともに、さらに家庭・地域との連携を強め、ともに子どもに働きかけていく体制を強化していくことが本校の使命である。